

情報技術と図書館

小田光宏(青山学院大学)

1 はじめに

1.1 課題解決型図書館と情報技術

- ・図書館をハブとしたネットワークの在り方に関する研究会(文部科学省)『地域の情報ハブとしての図書館:課題解決型の図書館を目指して』(2005年)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkoku/05091401/all.pdf
- ・これからの図書館の在り方検討協力者会議(文部科学省)『これからの図書館像:地域を支える情報拠点をめざして』(2006年)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701/009.pdf

1.2 情報技術に対するスタンス

- ・異なる可能性に対する意識
ICTを用いないという究極の選択
- ・情報技術の活用に伴う見識
議論なしに「使えるから使ってしまう」という弊害
「便利だから」という理由だけで使命を放棄する危険性

2 情報技術=ICTに関する共通理解

2.1 コミュニケーション機能:高度通信技術の適用

- ・ウェブページの活用
PR活動
資料予約・取り置き(reservation)
- ・電子メールの活用
メールレファレンスサービス
チャットレファレンスサービス
アラートサービス
新着図書情報の提供(SDI:選択的情報提供)

2.2 インフォメーション機能:情報源としての活用

- ・コンテンツ受信
ウェブページの検索利用
ウェブ上のデータベースの使用

- ・コンテンツ発信
 - Web OPAC
 - レファレンスリンク集の作成
 - 各種自館作成ツールの掲載

2.3 ネットワーク機能：情報の共有がもたらす効用

- ・仮想的図書館ネットワーク
 - Web OPAC の横断検索（総合目録機能）
 - バーチャルレファレンスサービス
- ・成果共有型ネットワーク
 - 国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムの位置づけ

3 ICT を用いた図書館サービスの特性と課題

3.1 サービス時間

- ・同期形態
 - 24/7 型サービス
- ・非同期形態
 - オンデマンド対応

3.2 遠隔利用

- ・優先順位の再確認
 - 来館者と非来館者
 - 住民と非住民
- ・利用の場
 - サイトライセンス方式によるアクセスの制限
 - 不正（違法）アクセスからの回避

3.3 他館との協同

- ・役割の認識
 - 各図書館における独自性の追求（公立図書館における地域との連関）
 - 図書館協同体としてのサービスの展開
- ・プラットフォーム
 - 協同のための仮想的な場の導入

3.4 サービスのしくみ

- ・資料と情報
 - 所蔵に依存しない資料の提供（アクセスの場の提供）
 - 十分な典拠性を持たない情報の提供（再参照の難しさ）
- ・副産物
 - サービスプロセスの成果の蓄積（ログの活用）
 - サービス内容の可視化（エビデンスとしての意義）

3.5 サービスの方法

- ・利用者の行動に沿った方法の取捨選択
認知科学の知見に基づく洞察
情報利用に関する感性や習慣に対する理解
- ・ユニバーサルな手法の採用
デジタルデバイド解消への貢献
障害児・者に対するデジタル情報の提供

4 HP に応用された ICT 活用例

- ・浦河町立図書館
<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/>
- ・前橋市立図書館
<http://www.tosyokan.city.maebashi.gunma.jp/>
- ・ふじみ野市立上福岡図書館
<http://www.library.kamifukuoka.saitama.jp/>
- ・浦安市立図書館
<http://library.city.urayasu.chiba.jp/>
- ・千代田区立図書館
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>
- ・足立区立中央図書館
<http://www.lib.adachi.tokyo.jp/>
- ・立川市図書館
<http://www.library.tachikawa.tokyo.jp/>
- ・新潟市の図書館（新潟市立西川図書館）
<http://www.niigatacitylib.jp/>（<http://www.nnl.jp/>）
- ・上越市立図書館
<http://www.lib.joetsu.niigata.jp/>
- ・高森町立図書館
<http://lib.town.takamori.nagano.jp/>
- ・恵那市中央図書館
<http://library.city.ena.gifu.jp/>
- ・三島市立図書館
<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>
- ・高松市図書館
<http://library.city.takamatsu.kagawa.jp/>
- ・吹田市立中央図書館
<http://www.lib.suita.osaka.jp/>
- ・千葉市女性センター情報資料センター
<http://opac.chp.or.jp/>
- ・日本医科大学図書館
<http://libserve.nms.ac.jp/>

5 将来的な展望ならびに方向性

5.1 ポータル化

- ・図書館という入口への期待
図書館 HP の案内機能からの脱却

5.2 高機能 OPAC

- ・OPAC の質的変容
図書館のインターフェイスにおける「もの」と「こと」のはざま
ベストブック（資料紹介）

5.3 マネージメントにおける活用

- ・HP の更新情報の RSS 配信
図書館の新着情報の発信
- ・IC チップ（タグ）による管理の応用
蔵書管理
セルフサービス化

5.4 利用者支援機能

- ・図書館型マイページ
利用記録の個人所有

5.5 利用者を巻き込んだ知の創造

- ・図書館の知と利用者の知のクロス
「個人による知の深化」から「協同による知の結集」に向けて
「学術的アプローチ」から「臨床的アプローチ」に向けて
「専門家による知の切り売り」から「市民による知の供出」に向けて